

2025 年 3 月 28 日

駒岡保育園

園長 荻原美穂

2024 年（令和 6 年度） 駒岡保育園自己評価

前年度より引き続き、子どもを取り巻く環境（物的・人的）を大きなテーマで取り組み、令和 6 年度は『保育の言葉がけについて』と『子どもの成長を助長する園庭づくり』を中心に取り組みました。こどもの探求心の深まり・興味関心の広がり・思いやりの心の育みや共存する力など、すべてが子どもと関わる大人が大きな役割を果たすという意識を高め、職員が同じ気持ちで取り組んでいきたいと思い 1 年を通して 2 つのテーマに取り組んできました。

【取り組み】

『保育の言葉がけについて』

環境の一つとして、職員の日頃の言葉がけや会話を一人一人振り返ってみようと思い取り組みました。園内研修の一つとして、言葉がけの中で気を付けていることをそれぞれが振り返り、ある保育の様子、子どもとの関わり動画を全職員で観ることにしました。その後、自分自身に置き換えてもらい自分ならどんな言葉がけをするのか、グループに分かれてディスカッションを行い、発表をしました。様々な意見がグループから発表される中、『子どもと一緒に考えていくこと』『わかりやすい言葉を使うこと』『見通しが持てるように次の活動を伝えていく』など共感をもって前向きな意見が上がりました。

『子どもの成長を助長する園庭づくり』

子どもたちが興味ある事、どんな風に園庭で遊んでほしいのか、園庭あそびを通してどんな姿になってほしいかなど、一人ひとり意見が出しあえるように付箋に思いを記入し、全職員で出し合いました。

- ① 自然の中で探究心・五感を育む園庭
- ② 遊びの中で運動機能を高める園庭
- ③ 想像力が豊かになる園庭
- ④ 安心できる空間がある園庭

など、主な 4 つの園庭に対する思いにまとめ上げました。

この思いを園庭整備業者に伝え、令和 7 年度の整備に向けて進めていきたいと思います。

【振り返り】

どちらのテーマでも感じた『意見の出し合いの必要性』。一人ひとりの保育の仕方や、保育に対する思いを共有することで、「素敵な保育しているな」「こんな言葉がけがあるんだ、真似してみよう」「こんな考え方もあるんだな」と職員一人ひとりの良さの再発見ができました。子どもに対する思いは同じ。やり方や、捉え方で子どもの意欲が変わってくることは共有意識として強く持ち、次年度も子どもの取り巻く環境構成を継続して取り組んでいきたいと思います。